

# 山形県新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部 第32回本部員会議 議事要旨

日 時 令和3年5月22日（土）午後3時～午後3時25分

場 所 県庁5階 502会議室

出席者 知事（本部長）、各部局長等（各本部員等）、特命補佐

## 1 開 会（午後3時）

## 2 知事挨拶

全国では、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置が多数の地域に適用され、N501Y変異株のまん延もあり、予断を許さない状況です。

県内では特に、大型連休の後にN501Y変異株への置き換わりが相当進んでおり、本県は、感染の第4波に入っているものと捉えております。今後も県内の感染拡大が続けば、医療提供体制のひっ迫、さらには崩壊までもが懸念される状況にあり、大変大きな危機感を持っております。

こうした中、南陽市では、飲食店におけるクラスターが発生するなど、人口10万人当たりの新規感染者数が、政府のステージⅣの指標である25人以上を大きく上回り、80人超となっております。急激に拡大しているところです。今後、感染がさらに拡大した場合には、置賜地域の医療の逼迫、崩壊が現実のものとなりますので、そのようなことにならないよう、南陽市と緊密に連携し、感染防止対策の取組みを進めることが極めて重要であります。

本日は、最近の発生状況等を確認するとともに、注意・警戒レベルの見直しや感染者が急増している南陽市と連携した感染拡大防止の取組みについて、協議・決定したいと考えておりますので、皆さんよろしくお願いたします。

## 3 協 議

### （1）新型コロナウイルス感染症の発生状況等について（資料P1～P9）

- 防災くらし安心部長及び医療統括監から、国内及び県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について報告した。
- 質問、意見なし。

### （2）山形県における新型コロナ対応の目安の見直しについて（資料P10）

- 防災くらし安心部長から、新型コロナ対応の目安の見直しについて説明した。（変異株による感染の拡大状況を踏まえ、適用レベルよりも高いレベルの対策を講じることもできるよう新型コロナ対応の目安を見直すもの）
- 質問、意見なし。
- 知事から以下のとおり発言があった。

それでは説明のとおり、新型コロナ対応の目安を見直すこととします。今後は、この目安に応じて感染防止対策に取り組んでいくことといたします。

**(3) 南陽市と連携した感染拡大防止の取組みについて (資料P11～P15)**

- 防災くらし安心部長から、南陽市における新型コロナウイルス感染症の発生状況及び県と南陽市の合同要請の取扱いについて説明した。
- 質問、意見なし。
- 知事から以下のとおり発言があった。  
それでは説明のとおり、南陽市民の皆様には要請することといたします。

**(4) 県民の皆様及び事業者の皆様へのお願いについて (資料P17)**

- 防災くらし安心部長から、県民の皆様及び事業者の皆様へのお願いについて説明した。
- 質問、意見なし。
- 知事から以下のとおり発言があった。  
それでは説明のとおり、この案のとおり県民の皆様には取組みをお願いすることといたしますので、市町村とも連携し、しっかりと周知してください。

**(5) その他**

- 発言なし。

**【知事指示事項】**

県内の感染は、変異株への置き換わりが進み、感染拡大のリスクが益々高まっております。南陽市において、これ以上感染を拡大させないため、感染防止の取組みとして3点指示します。

- 1 南陽市においては、不要不急の外出や移動を控え、基本的な感染防止対策を徹底していただくよう、南陽市と連携して、市民にしっかりと周知してください。
- 2 引き続き、積極的疫学調査をしっかりと進め、感染拡大阻止に全力を挙げてください。
- 3 置賜地域の医療現場のひっ迫、崩壊を招かないよう、受入れ医療機関との広域的な調整や宿泊療養施設の活用など、感染者の療養先の調整をしっかりと進めてください。

県内では、二桁の感染が続き、変異株の感染拡大という新たなステージに入ったと捉えております。市民・県民の皆さんと一丸となって、一刻も早く感染を収束させるよう、取り組んでまいりましょう。

**4 閉 会 (午後3時25分)**